

長崎県立高等学校教育改革 第 8 次 実 施 計 画



平成 2 8 年 9 月 8 日

長崎県教育委員会

目 次

長崎県立高等学校教育改革第8次実施計画の策定について……………	1
《1》離島留学制度の拡充……………	2
《2》時代が求める人材の育成に向けた学科改編……………	4
《3》定時制課程における多様な生徒への教育支援の充実……………	5
第8次実施計画（総括表）……………	6

長崎県立高等学校教育改革第8次実施計画の策定について

長崎県教育委員会は、時代の要請や社会の変化、少子化による生徒数の長期的な減少など、本県高等学校教育を取り巻く環境の変化や諸課題に対応するとともに、21世紀を切り拓き本県の将来を築く人づくりを担う高等学校づくりをこれまで以上に推進するため、今後の県立高等学校教育の改革や適正配置等に関する基本的な考え方を示す「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」（計画期間：平成23～32年度、以下「第二期基本方針」という。）を平成21年3月に策定した。

この「第二期基本方針」においては、「第一期長崎県立高等学校改革基本方針」の「適正配置の基準」を一部見直し、一島一高等学校及びこれに準じる通学上の不便さを抱える地域については、高等学校で学ぶ機会を確保する観点から特例を設け、連携型中高一貫教育を導入するなど、学校の機能と教育水準の維持を図りながら、小規模校であってもできるだけ維持する方向で検討を行うように改めた。

また、人口減少社会への対応が求められる中、地方創生の観点から県立高等学校の存在が、地域コミュニティの維持、活性化にも影響を与えるという視点に立ち、しまや半島部の小規模化する県立高等学校において、教育面からも地域の活性化につながるような、地域と連携・協働した取組ができないか、検討を進めているところである。

今回策定した「長崎県立高等学校教育改革第8次実施計画」（以下「第8次実施計画」という。）は、小規模化が進むしまの高等学校における離島留学制度の拡充や、グローバルな視点から地域の課題について考察できる人材を育成する普通科「グローバルコース」の設置のほか、地域の介護・福祉人材の育成に向けた福祉科（仮称）の設置、多様な生徒の学びに対応するための定時制課程におけるコースの設置など、平成29年度から平成31年度に実施する施策をまとめたものである。

今後、県教育委員会及び関係高等学校においては、「第8次実施計画」の着実な推進に努め、教育水準の維持・向上を図っていくものとする。

また、本計画における離島留学制度の拡充に向けた取組については、同様の検討を行っている他地区の先行モデルとして導入することとしており、今後もしまや半島部における高等学校の魅力化について、引き続き検討を進めていくものとする。

《 1 》 離島留学制度の拡充

生徒減少により小規模化が進むしまの県立高等学校においては、配置される教員の減少に伴い、教科や科目の設定に制約が生じるほか、学校行事の運営や部活動の設置数など、学校の活力の面においても影響が懸念される。このため、宇久、奈留、小値賀地区の一島一高等学校においては、平成20年度から小中高一貫教育を導入し、教員の相互乗り入れ授業等によって、学校活力の向上と教育水準の維持に努めてきた。

これまでの離島留学制度では、交流人口の拡大等を目指して、平成15年度から比較的規模の大きな対馬高等学校、壱岐高等学校、五島高等学校に、韓国語や中国語、スポーツなどに特化した科目を設置して、各校20名程度の離島留学生の受け入れを進めてきた。

近年、人口減少社会への対応が求められる中、地方創生の観点から地域の活性化に教育面からも貢献できないかという視点に立ち、地域と連携・協働して、地域内外から多くの生徒が入学してくるよう、しまの小規模県立高等学校の魅力化を進めていくこととする。

まずは、魅力化の条件整備について、地域での検討が先行している五島市の五島南高等学校及び奈留高等学校において、島外（県外も含む。）からの生徒の受け入れを目的とした新たな取組を先行モデルとして導入する。

五島南高等学校では、全日制普通科単位制高等学校に改編し、不登校生徒を受け入れる「夢トライコース（仮称）」を新たに設置する。このコースでは、地域の行事や体験活動を通して豊かな自然と親しみ、温かい地域住民とのふれあいを通じて生きる力の更なる伸長を目指す。

また、奈留高等学校では、小中学校に「しま留学」として入学してきた児童生徒を小中高一貫教育の強みを生かして教育することや、これまでの英語に重点をおいた教育を軸に、主として大学への進学を目指している生徒を受け入れ、地域の活性化に資することとする。

＜離島留学制度を拡充する高等学校＞

- ・五島南高等学校…平成30年度

※全日制普通科単位制高等学校として改編。

※不登校生徒を受け入れる「普通科 夢トライコース（仮称）」
定員20名程度を新設。

- ・奈留高等学校…平成30年度

※小中高一貫教育と英語教育に重点をおいた特色ある教育による
留学制度を導入。定員の枠内で募集。

※「イングリッシュ・アイランド・スクール（E-アイランド・
スクール）（仮称）」

《2》時代が求める人材の育成に向けた学科改編

急速に国際化が進展する中、本県においては望ましい国際感覚を持ち、外国語コミュニケーション能力を備えた国際人材を育成するため、平成27年度から長崎東高等学校へ国際科を設置した。さらに、グローバル化への対応を一層進めるためにも、グローバルな視野で物事を考える能力を持ち、地域の発展に情熱と愛情を注ぐことのできる人材の育成が求められている。

一方、本県は全国的にも早く高齢社会が到来し、介護や福祉人材の需要が大きくなってきたことを踏まえ、平成24年度から大村城南高等学校総合学科へ高等学校卒業時に介護福祉士の国家試験が受験できる体制を整え、資格取得等においても期待どおりの成果を上げている。このほか、県立高等学校7校で介護職員初任者研修にも取り組んでおり、福祉人材の育成に努めてきたところである。

時代が求める人材育成を更に推進するためには、先行して実施した長崎東高等学校や大村城南高等学校における成果を参考にしながら拡充していく必要がある。

口加高等学校は島原半島南部に位置し、地域の信頼の厚い普通科高等学校であり、英語教育にも力を入れ、家庭科教育（福祉・保育等）にも多くの実績を有している。

これまでの成果を踏まえ、地元自治体と連携した人材の育成が可能であることから、次の学科改編を進める。

＜学科改編を行う高等学校＞ 口加高等学校

○コース新設…平成29年度

普通科 ⇒ 普通科、グローバルコース〈新設〉

○学科新設…平成31年度

普通科、グローバルコース ⇒ 普通科、グローバルコース
※福祉科（仮称）〈新設〉

《3》 定時制課程における多様な生徒への教育支援の充実

定時制課程においては、社会の変化に伴い、多様な入学動機を有する生徒が学んでいる。近年は、中学校時代に不登校であった生徒や発達障害のある生徒など、様々な支援を要する生徒のほか、これまでの学校教育において様々な「つまずき」の体験を有する生徒も増加傾向にある。

佐世保中央高等学校では、これらの多様な特性のある生徒や、社会への適応に自信を持ってない生徒に対して、個に応じたきめ細かな指導体制を整備してきた。特に昼間部では、社会的自立に向けた望ましい教育的支援を行うため、平成26年度から文部科学省の研究指定を受けて「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」をテーマに障害に応じた特別の教育課程の編成（通級による指導等）に関する研究を進めてきた。

また、在籍する生徒の多くは何らかの形で就労しており、その勤務時間も昼間だけでなく午前や夜間のみなど、学習したい時間帯も多様化してきているほか、生涯学習の視点から、退職された方や主婦の方が再び高等学校で学びたいというニーズも高まっている。

これらの教育的支援に係る実践や研究の成果を踏まえて、従来の昼間部、夜間部と異なる、午後からの学習が選択できるコースを夜間部に設置することによって、定時制課程に対する幅広いニーズに応えていく。

なお、県南地区の鳴滝高等学校への導入については、佐世保中央高等学校での成果を踏まえたうえで、今後検討していくものとする。

＜導入する高等学校＞

佐世保中央高等学校定時制課程…平成30年度

夜間部



夜間部

※エンカレッジコース（仮称）〈新設〉

おおむね午後1時～午後6時の時間帯で授業を行う。

第8次実施計画(総括表)

1 実施計画の概要

平成21年3月に策定した「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」に基づき、平成29年度から平成31年度に実施する施策をまとめたもの。

2 実施計画の内容

《1》離島留学制度の拡充

五島南高等学校では、不登校生徒を受け入れ、地域の行事や体験活動を通して豊かな自然と親しみ、温かい地域住民とのふれあいを通じて生きる力の更なる伸長を目指した夢トライコース(仮称)を設置する。また、奈留高等学校では、小中学校に「しま留学」してきた児童生徒を小中高一貫教育の強みを生かして教育することや、これまでの英語に重点をおいた教育を軸に、主として大学への進学を目指している生徒を受け入れる。

＜離島留学制度を拡充する高等学校＞

- ・五島南高等学校…平成30年度
※全日制普通科単位制高等学校として改編。
※不登校生徒を受け入れる「普通科 夢トライコース(仮称)」定員20名程度を新設。
- ・奈留高等学校…平成30年度
※小中高一貫教育と英語教育に重点をおいた特色ある教育による留学制度を導入。
定員の枠内で募集。
※「イングリッシュ・アイランド・スクール(E-アイランド・スクール)(仮称)」

《2》時代が求める人材の育成に向けた学科改編

口加高等学校に、グローバルな視野で物事を考える能力を持ち、地域の発展に情熱と愛情を注ぐことのできる人材の育成を目指してグローバルコースを設置するとともに、介護、福祉人材の育成が求められていることから、福祉科(仮称)を設置する。

＜学科改編を行う高等学校＞ 口加高等学校

- コース新設…平成29年度
普通科 ⇒ 普通科、グローバルコース<新設>
- 学科新設…平成31年度
普通科、グローバルコース ⇒ 普通科、グローバルコース
※福祉科(仮称)<新設>

《3》定時制課程における多様な生徒への教育支援の充実

発達障害などの多様な支援を要する生徒や、多様な学習ニーズを有する生徒に対し、柔軟な対応ができるよう、午後からの学習にも対応できるエンカレッジコース(仮称)を佐世保中央高等学校定時制夜間部へ設置する。

＜導入する高等学校＞

- 佐世保中央高等学校定時制課程…平成30年度
夜間部 ⇒ 夜間部
※エンカレッジコース(仮称)<新設>
おおむね午後1時～午後6時の時間帯で授業を行う。

「長崎県立高等学校教育改革第8次実施計画」

長崎県教育庁 総務課 県立学校改革推進室

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL 095-894-3317 FAX 095-894-3470

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/departement/edu/index.html>